

新潟県知事  
泉田 裕彦 様

### 原子力災害対策指針（防災指針）に関する要望

10月31日、審議開始から約1ヶ月、原子力災害対策指針（防災指針）の素案公表（10月24日）からわずか1週間で、防災指針が策定されました。これはあまりに拙速であり、再稼働準備のために急いでいるとしか思えません。

現在の指針には、被災者支援も一般市民の声も反映されていません。実際に事故が生じた場合は広く国民に影響が及ぶのにもかかわらず、パブコメも行われません。現行のあまりに高すぎる20mSv基準をもととした避難政策の検証・見直しが行われていないなど、多くの問題点が残されています。

核物質の拡散シミュレーションでは、何度も誤りが発見されることが報じられており、データ処理のずさんさが問題になっています。IAEAの7日間に100mSvという異常に高い値が使われていますが、実際に福島原発事故後、政府が避難指示を行ったのは年20mSvを超える区域でした。これを踏まえシミュレーションをやり直すべきです。

私たちはこのような問題意識から署名を集め、原子力規制委員会に要請を行いました。まったく無視されている状況です。

原発立地自治体として、住民を守るという観点から、下記の要請を原子力規制委員会に行ってください。

1. 福島原発事故時の防災・避難の実態を踏まえ、自治体・市民も含めて十分に議論して下さい。
2. 避難者、被災者からのヒアリングを行ってください。また、パブリックコメントにかけて下さい。
3. 30kmの重点防災対策区域（UPZ）は狭すぎます。見直してください。
4. 年20mSv基準を撤回し、より厳しい避難基準を設定してください。避難政策を検証の上、避難政策を見直してください。福島原発事故後、避難指示の遅れにより、多くの住民が無用の被ばくを強いられました。賠償もないままの避難を強いられた方々がたくさんいます。
5. 核物質拡散シミュレーションでの7日間100mSvは異常に高い値です。実際に福島原発事故後、最終的には年20mSvを基準に政府の避難指示が出されました。この現実を踏まえ、もっと低い値でシミュレーションをやり直すべきです。

以上

4, 018筆

原発からいのちとふるさとを守る県民の会、脱原発をめざす新潟市民フォーラム  
原子力防災を考える長岡市民の会、国際環境 NGO FoE Japan、福島老朽原発を考える会  
など212団体（別紙参照）

## ◆要請の理由◆

10月の末、防災指針（原子力災害対策指針）がわずか1カ月の審議で策定され、今後OIL、EALが策定されていくことになっています。30km圏内の自治体は、この原子力災害対策指針に基づいて、年度内に原発事故防災計画を策定することとなっています。しかし、現在の防災指針は下記の点で大問題です。

1. 審議開始から約1ヶ月、防災指針（原子力災害対策指針）の素案公表（10月24日）からわずか1週間で、10月末に指針策定はあまりにも性急すぎます。
2. 指針策定前に、福島原発事故の実態、実際に政府の避難指示の問題点を把握するため、避難者、被災者からヒアリングを行うべきです。避難指示の遅れで多くの人々が無用の被ばくを強いられました。
3. 自治体、市民も含めて十分な議論を行うべきです。パブリックコメントも実施すべきです。冬の積雪の中で避難ができるのか等々、十分な議論が必要です。

自治体首長からも多くの戸惑いの声が出されています。新潟県知事は「シミュレーションの前提や考え方を確認する必要がある。原子力規制委員会の委員には、住民の命と暮らしを守るという考えが欠けている」と述べています。

### 4. 「指針の素案」のいくつかの問題点

- (1) 30kmの重点防災対策区域（UPZ）は狭すぎます。  
福島原発事故では60km離れた飯舘村も避難区域となりました。  
原子力規制委員会が公表した被ばくシミュレーションでさえも、30km超えても7日間で100mSvに達する地点があります。30kmに限ったUPZとの整合性はどのようなのでしょうか。
- (2) 現在と同様に年20mSvの避難基準を導入しようとしています。より厳しい基準を設定すべきです。福島原発事故では、この基準によって、高い線量にさらされながら賠償が出されずに、避難したいのに避難できない住民が多くいます。
- (3) 避難のためにあらかじめ定める基準（EALやOIL）がIAEA基準を基に7日間100mSvと高い数値に設定される可能性があります。スピーディーの活用、30km外のプルームによる被ばく対策等々、重要な課題は先送りにされています。
- (4) 避難に伴う補償や「避難の権利」などについて何も考慮されていません。

### 5. 7日間100mSv

10月24日に公表された被ばくシミュレーションは、風向きを平均化するなど被ばく量の過小評価につながります。さらにIAEAの7日間で100mSvという異常に高い値に達する地点のみしか公表していません。実際に避難指示が出されたのは、最終的には年20mSv以上の区域です。この避難指示の遅れにより、多くの住民に無用の被ばくが強いられました。

7日間100mSvの被ばく量のみのシミュレーションではなく、もっと低い値でのシミュレーションを公開すべきです。

<呼びかけ・賛同団体>

原発からいのちとふるさとを守る県民の会  
脱原発をめざす新潟市民フォーラム  
原子力防災を考える長岡市民の会  
国際環境 NGO FoE Japan  
福島老朽原発を考える会  
原発を考える品川の女たち  
グリーン・アクション  
美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会（美浜の会）

経産省前テントひろば

福島原発事故緊急会議

再稼働反対！全国アクション

プルトニウムなんていらぬよ！東京

<賛同団体>

放射能のゴミはいらぬ！市民ネット・岐阜

平和・人権・環境を守る岐阜県市民の声

「脱原発」を考える市民講座・四日市

資料センター《雪の下の種》

地球の子ども新聞

さようなら柏崎刈羽原発プロジェクト

七番めの星

hand to hand project kawamata

能登原発防災研究会

Mox 反対伊方の会

三島・原発震災防ぐ風下の会

森と暮らすどんぐり倶楽部

脱原発・東電株主運動

東電株主代表訴訟

真宗大谷派 法灯舎

放射 NO！なお茶会

脱原発福島ネットワーク

エコリレーかめおか

放射能防御プロジェクト近畿

ふくしまの子ども達を救う会

脱原発！子どもたちを放射能から守ろう！！江別実行委員会

脱原発の日実行委員会 Campaign for Nuclear-free Japan

NPO 地球とともに

唯足舎

核のごみキャンペーン・中部

未来の福島こども基金

ウラン残土市民会議

人権・平和ネットうべ

原発やめよう&つながろう/関西・マダム会議

子どもと成人の内部被曝を考える市民の会

グリーン市民ネットワーク高知

放射能から豊中の市民・子供を守る会

NGO e-みらい構想

ボイス・オブ・ヒロシマ

福島の子どもたちを放射能から守ろう・関西

脱原発とうかい塾

プルトニウムフリーコミュニケーション神奈川

暮らしの環境情報室

原子力防災を考える長岡市民の会

ふるむ・あーす & カフェ・オハナ

原発さよなら千葉

市原憲法を活かす会

原発なしで暮らしたい丹波の会

原子力発電を考える石巻市民の会

月原発をめざす女たちの会北海道

さよなら！志賀原発ネットワーク

原発・核燃とめようかい

劣化ウラン兵器禁止市民ネットワーク

神奈川県労働組合共闘会議

千葉の干潟を守る会

首都圏反原発連合

エネルギーシフトパレード

脱原発へ！中電株主行動の会

みどりの未来・ふくしま

ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン

平和と民主主義をめざす全国交歓会

ハイロアクション福島

日本ソーラーエネルギー教育協会

STOP プルサーマル！ふくしま

Happy Smile Fukushima

花とハーブの里

原発いらんがねっと名古屋

そらとも

ワーカーズ・コレクティブ ネットワーク ジャパン

関西＊母と科学者の会

610 放射能から未来を守る市民の会

阪南中央病院労働組合

浜岡原発を考える静岡ネットワーク

平和と民主主義をめざす全国交歓会

東京一般労働組合東京音楽大学分会

脱原発はりまアクションの会

ストップ原発&再処理・意見広告の会

放射能を拡散させない市民有志の会

核燃止めよう浪岡会

さよなら原発箕面市民の会

すなめりの会  
 サロン日曜日  
 日本消費者連盟関西グループ  
 チェルノブイリ子ども基金  
 三陸のさんま・わかめを愛する会  
 震災被災者支援コミュニティ富士の麓のうつくし村  
 東京電力と共に脱原発をめざす会  
 東埼玉百人委員会  
 NUKE FREE みえ・いせ  
 脱原発四万十行動  
 原発さよなら四国ネットワーク  
 和歌山県農民農業団体連合会  
 脱原発大分ネットワーク  
 いのち・未来 うべ  
 小樽・子どもの環境を考える親の会  
 玄海原発プルサーマル裁判の会  
 プルサーマルと佐賀県の100年を考える会  
 玄海原発プルサーマル裁判を支える会  
 FreeSchool KHAOS  
 原発八女ん会  
 東京・生活者ネットワーク  
 福岡地区合同労働組合  
 リブ・イン・ピース☆9+25  
 脱原発アクション in 香川  
 足元から地球温暖化を考える市民ネットたてばやし  
 津野山脱原発を考える会  
 中津川の環境を守る会  
 日本環境法律家連盟 (JELF)  
 川内原発建設反対連絡協議会  
 平和と人権を考える狭山市民の会  
 たんぽぽ舎  
 npo 百笑屋敷  
 四国 労働者民衆センター  
 江東・生活者ネットワーク  
 原発と暮らしを考える会 (神奈川県横浜市)  
 くまの虹のわ NO NUKES 部  
 柏崎刈羽原発反対地元三団体  
 ふくしまいせしまの会  
 放射能から子どもたちを守る枚方の会  
 自然村有限会社  
 秋田子どもを守るネット  
 脱原発・滋賀☆アクション  
 杉並母親連絡会  
 「六ヶ所村ラプソディー」を上映する会 in 阪南中央病院  
 小林大木企画  
 原発やめよう/つながろう関西・マダム会議  
 かながわ平和憲法を守る会  
 虹とみどりの会  
 ロックの会  
 横浜学校労働者組合  
 shut 泊  
 グリーンピースサポーターズクラブ熊本  
 えねみら・とっとり  
 大阪大学附属病院看護師労働組合  
 福島原発からの放射能放出をやめてほしいと願う  
 阪大病院看護師の会  
 NPO 法人しぜん あそ・まな・くらぶ  
 草の根の会・中津  
 放射能ガレキから命を守りたい委員会  
 時をみつめる会  
 「ゆるゆる新聞」  
 原発がこわい女たちの会  
 原発・核燃とめようかい  
 脱原発・滋賀☆アクション  
 オールターナティブズ  
 「平和への結集」をめざす市民の風  
 緑の党 Greens Japan  
 日本軍「慰安婦」問題・関西ネットワーク  
 脱原発カトリック市民ネット  
 さよなら原発！三鷹アクション実行委員会  
 不戦へのネットワーク  
 エネチェン大作戦  
 三陸の海を放射能から守る岩手の会  
 美しい錦川を未来へ手渡す会  
 ニセコの粉雪を守ろう会  
 ピースウォーク山口  
 スイス アジサイの会  
 赤塚・成増9条の会  
 NPO げんごろう  
 原発いらん！山口ネットワーク  
 宮崎の自然と未来を守る会  
 毎月26日のランチタイムに関電前に集まる女たち  
 脱原発へ！関電株主行動の会  
 暮らしを見つめるひととき  
 ぶんぶんトークの会  
 なかよし文庫  
 ふえみん婦人民主クラブ  
 国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン  
 化学物質問題市民研究会  
 jfor 日本友和会 有志  
 ストップ・ザ・もんじゅ  
 ピープルズ・プラン研究所

核燃サイクル阻止 1 万人訴訟原告団  
なくそう原発・平和をつなぐ会  
日本キリスト教団神奈川教区核問題小委員会  
風ふくおかの会  
放射線からみんなの健康といのちをまもる秩父の  
会  
未来ネット佐賀ん会  
福井から原発を止める裁判の会  
Oracle itami～ポスト 3.11 を避難者と共に考える  
伊丹市民の会～  
安心な健やか地域づくりをすすめる会  
核の炎を憂うるイサナミの会  
放射能の健康被害から次世代を守る女医の集い  
岩手有機農業研究会  
日本環境法律家連盟（JELF）  
ぐるうぷ未来  
原発廃炉で未来をひらこう会  
脱原発！フェミ集合

鈴ん小屋  
憲法を守る市民の会・群馬  
避難者と未来をつくる会  
「プルサーマルを知ろう」後志住民ネットワーク  
STOP 原子力★関電包囲行動  
とめよう原発!!関西ネットワーク  
脱原発で生きたい女たち・豊中  
千葉の干潟を守る会  
9条改憲阻止共同行動実行委員会  
放射能から子供と自然を守る会 神崎郡  
自立生活センター三田  
「緑」の京都・準備会  
資料センター《雪の下の種》  
京都生協の働く仲間の会  
玄海原発プルサーマル裁判の会  
玄海原発プルサーマル裁判を支える会  
プルサーマルと佐賀県の 100 年を考える会

※問い合わせ※

国際環境 NGO FoE Japan tel: 03-6907-7217（平日・日中） fax: 03-6907-7219  
〒171-0014 東京都豊島区池袋 3-30-22-203  
満田夏花（みつた・かんな）携帯：090-6142-1807

福島老朽原発を考える会（フクロウの会）

東京都新宿区神楽坂 2-19 銀鈴会館 405 共同事務所 AIR TEL/FAX 03-5225-7214  
阪上武 携帯：090-8116-7155